



広報

輝く未来へ しほろ創生

しほろ

2023
No.749

4

■主な内容

- ・ 町政執行方針／教育行政執行方針 P 2-10
- ・ 3月議会で可決された主な案件 P11
- ・ みんなで教育を考える集い P12-17
- ・ 総研指定管理者制度を導入 P18
- ・ 退職者（管理職）のご挨拶 P23



全国大会3年ぶり4度目の優勝

～士幌町中央中スピードスケート女子チーム～

令和5年度 町 政 執 行 方 針

「チームしほろ“農村ユートピア”2世紀へ」

町民誰もが安心・安全、生きがいを実感できる
「真に豊かな農村しほろ」を目指して

3月3日に開会した第1回定例町議会において、高木康弘町長が町政執行方針を述べました。内容は次のとおりです。



I はじめに

我が国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いている一方で、ロシアによるウクライナ侵攻を背景とした国際的な原材料価格の上昇や円安の影響等によるエネルギー・食料価格の高騰、欧米各国の金融引締めによる世界的な景気後退懸念など、我が国経済を取り巻く環境には厳しさが増えています。

国においては、経済を民需主導の持続的な成長経路に乗せていくため、「物価高・円安への対応」「構造的な賃上げ」「成長のための投資と改革」を重点分野とする「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策（令和4年10月28日閣議決定）」を策定し、令和4年度第2次補正予算が執行され、この結果、令和4年度の実質国内総生産（実質GDP）成長率は1.7%程度、名目国内総生産（名目GDP）成長率は1.8%程度となることが見込まれ、消費者物価（総合）に

ついては、エネルギーや食料価格の上昇に伴い、3.0%程度の上昇率になると見込まれています。

国の令和5年度当初予算は、令和4年度第2次補正予算と一体として「経済財政運営と改革の基本方針2022」に沿って、足元の物価高を克服しつつ、経済再生の実現に向け、人への投資、科学技術・イノベーション、スタートアップ、GX、DXといった成長分野への大胆な投資、少子化対策・こども政策の充実等を含む包摂社会の実現等による新しい資本主義の加速や、外交・安全保障環境の変化への対応、防災・減災、国土強靱化等の国民の安全・安心の確保を重点施策として、更に、新型コロナウイルス感染症および原油価格・物価高騰対策予備費を4兆円、ウクライナ情勢経済緊急対応予備費1兆円が措置されています。一般歳出については、72兆7,317億円（5兆3,571億円増）となり、これに地方交付税16兆3,992億円（5,166億円増）および国債費25兆2,503億円を

加えた歳出総計は、令和4年度当初予算に対して6.3%増の11兆3,812億円と当初予算としては11年連続で過去最高を更新し、100兆円超えが5年連続となったところであります。

II 町政運営の基本

このような国の経済、財政の動向の中にあつて、町の行財政を取り巻く環境は依然として厳しいものがあり、その状況を踏まえつつ令和5年度の予算編成を行ったものであります。今後も財政の健全化に一層留意をしなければならぬものと、認識をしているところであります。

令和5年度は、私の任期の2年目、「チームしほろ“農村ユートピア”2世紀へ」をテーマに、引き続き、第6期町づくり総合計画（後期）、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進とあわせ、第7期行政改革推進大綱を踏まえ、効率的かつ計画的な行財政運営に留意しつつ、地域の人・産業・資源を活

かした「活力のある町」と、町民誰もが安心・安全、生きがいを実感できる「真に豊かな農村しほろ」を目指してまいる所存であります。

Ⅲ 主要施策

地域産業の活性化により、多様な雇用を創出

基幹産業である農業をめぐっては、令和4年度は夏場の天候不順で多くの作物で収量と品質が低下、酪農は生産抑制を求められ、肥料や飼料といった生産費の高騰が経営を大きく圧迫し、かつてない厳しい状況でしたが、十勝の農業生産額は、3,494億円(概算値)で過去3番目となり、十勝農業の底力を示したところでありました。生産者・関係機関のこれまでの努力に敬意を表すものであります。その一方で、世界の食料需給を巡るリスクの顕在化への対応や農業の持続可能な成長産業化を推進していかなければなりません。

これまでの生産性の高い土幌型

農業に加えて、令和2年度にスタートした国の「食料・農業・農村基本計画」の主旨を踏まえ、農業・農村の多面的機能を発揮しながら、消費者と食・農とのつながりの深化

- ・担い手の育成・確保
- ・スマート農業の加速化
- ・持続可能な農業とゼロカーボンの推進

などの取り組みを農業振興対策本部(審議会・執行部会)が中心となって推進してまいります。

その他、農業基盤整備事業(国営・道営)の推進のほか多面的機能支払交付金事業(全町9地区)を継続してまいります。

一方、景気低迷や消費流出に加え、新型コロナウイルスの影響もあり工業を取り巻く環境も一層厳しいものがあります。小規模企業振興基本条例に基づき、商工会と連携し、地域経済の持続的な発展および町民生活の向上を目指してまいります。

人の流れを増やし、住環境を充実させ、移住・定住を促す

本町の3つの観光拠点施設の入込数は回復しつつありますが、ポストコロナを見据えたピア21しほろ外構整備基本構想、プラザ緑風再整備基本構想に基づき機能アップや再整備を推進し、交流人口の拡大を目指してまいります。

また、昨年7月に町内全域で完成した光ファイバ網を活かした旧小学校閉校施設等利活用による企業誘致やサテライトオフィス利用、農園付き住宅による二地域居住を促進します。

更に、令和3年度から開始したマイホーム建設支援事業に加え、新たに、賃貸住宅家賃への助成を行う定住スタート応援事業および奨学金返還支援事業によって移住・定住を推進してまいります。

結婚・出産・子育てへの支援を充実

本町で結婚し生活を送ることを

希望する人たちが増えるよう、結婚につながる出会いの場を充実させます。

また、改正児童福祉法により組織を見直し、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う『こども家庭センター』の令和6年度からの開設に向けて準備を進めます。

子育てにかかる経済的な負担の軽減として、新たに小学校・中学校の児童・生徒に対する給食費の完全無償化を図り、更なる子育て支援の充実を図ります。

次に、平成20年度にスタートした認定こども園ですが、少子化が進む中にあっても3歳未満児の入園が増加している現状と施設の老朽化を踏まえ、令和7年度末の改築整備完成に向け、基本計画・基本設計に着手してまいります。

一方、全国的に子供の虐待や事故の頻発、子どもの貧困と言われる事態を大変憂慮しているところであり、令和5年度から拡充する子育て短期支援事業なども活用し、地域を挙げて子どもを守るために、

町・教育委員会・児童相談所・警察など関係機関との連携を強化してまいりたいと存じます。

安心して住み続けることができる地域をつくる

国の社会保障制度が見直される中において、保健・医療・福祉の推進においては、よりきめの細かい対応が必要であると認識をしているところであります。

まず、健康づくりの推進については、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を基本目標に、誰もが健やかに安心して生活できるよう、令和5年度より50歳以上の方を対象に、带状疱疹の発症および重症化を予防するため、任意予防接種である带状疱疹予防接種にかかる費用の一部助成を行うなど、引き続きライフステージに応じた各種施策を推進してまいります。

新型コロナウイルスの感染法上の分類が5月から、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられる予定で、医療費やワクチン接種が全額公費負担から将来的には一部自

己負担に変わっていく見通しですが、ワクチン接種についてはこれまでと同様に町立国保病院等で進めてまいります。

次に、高齢者および障がい者の福祉についてありますが、「第4期地域福祉計画」「第8期介護保険事業計画」および「第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画」の最終年（3年目）となりますが、福祉関係団体との連携のもと計画を推進してまいります。

介護保険事業の運営にあたっては、介護予防の充実による保険料の抑制、制度の安定および町内の施設等の人材確保を図ってまいります。

障がい者福祉では、NPO法人「士幌町障がい者支援の会」により「障がい者総合施設」を拠点として、各種事業が展開されているところであり、今後においてもNPO法人と連携しながら機能の充実を図ってまいりたいと存じます。

更に、地域福祉計画に基づき、社会福祉協議会など福祉関係団体と連携しながら、全地域で展開さ

れている「ふれあい・いきいきサロン」、「見守りネットワーク事業」や「たすけ愛」など、地域で支え合うシステムづくりを積極的に推進してまいります。

地域福祉の推進に向けては、高齢者の交通手段の確保が重要な要素であります。市街地におけるコミュニティバス運行と併せ、高齢者等移動支援事業によるハイヤーチケットの交付を継続してまいります。

次に、地域医療に関してですが、医師・看護師不足、診療報酬の改定などにより、自治体病院を取り巻く環境は依然として厳しいものがあります。

国保病院は町内唯一の医療機関であり、保健・医療・福祉を包括する「福祉村」の中核施設としての役割を担うものであります。サービスの向上とあわせ、経営改善の取り組みを行っています。依然として一般会計から3億5,000万円超の繰出しをしています。平成30年度において「町立病院改革プラン」に基づき、入院50床と

したところでありますが、今後において、行政改革の重点項目として人口構造や医療ニーズの変化を踏まえつつ、医療機能や経営形態を含めた議論を行ってまいります。

更に、「福祉村」内の各施設との連携を図りながら、「地域包括ケアシステム」の深化に向けた取り組みを一層進めてまいりたいと存じます。

次に、世界的な気候変動が引き起こす自然災害の頻発・激甚化により町民の生命・財産を脅かすリスクに常にさらされており、防災・減災の対策や千島・日本海溝巨大地震が近い将来発生することも想定される中での事前防災の重要性など、今後においても自然災害への対応は極めて重要であります。

地域防災計画により、防災備蓄品の整備や自主防災組織の設立を推進しているところであり、前年度より自主防災組織の活動支援にも取り組んでいるところであります。また、防災行政無線と令和4年度より運用を開始した「士幌町公式LINE」による更なる情報発信

とマイナンバーカードとの併用による行政サービスの向上に努めてまいります。

更に防災については、内閣府の定める「地域防災マネージャー」の資格を有し、防災危機管理における専門的な知識と災害対応などの豊富な経験により、災害に対する備えや災害発生時の的確な状況判断など、防災体制の更なる充実に図るため「防災マネージャー」を配置いたします。

ゼロカーボン土幌の実現

地球温暖化は、我が国、そして世界全体にとって大きな課題であります。2050年までの脱炭素社会の実現を見据えて、昨年6月に「土幌町ゼロカーボンシティ宣言」を行ったところであり、令和4年度は、土幌町ゼロカーボンシティ推進協議会の中で、2030年、2050年に向けた温室効果ガス(CO₂)削減量と再生可能エネルギー導入目標の設定を行いました。今後、国や道の様々な補助事業を

活用しながら町内の事業者、住民との連携・協働による取り組みを進めてまいります。

持続可能な町づくりの推進

町政の推進にあたっては、役場組織の機構改革を行うものであります。が、庁内組織と連動して、町民会議や地方創生推進会議など、町民や関係機関・学識経験者にも広く参画をいただきながら、推進をしてまいります。

次に、広聴活動と積極的な情報発信であります。これまでの広報しほろ・役場だよりでの月1回の発信、春と秋の町づくり懇談会、ユートピアメールに加え「しほろみらいトーク」と「土幌町公式LINE」の積極的な活用を図ってまいります。

次に、財政健全化に向けての取り組みであります。国の地方財政計画においては、地方交付税は18兆3,611億円(3,073億円・1.7%増)となったものの、臨時財政対策債は

9,946億円(7,859億円・44.1%減)と大幅に減額となり、時代のニーズをしっかりと見極めながら、より計画的かつ効率的な財政運営に留意しなければなりません。

また、新たな財源の確保の一端を担っている本町のふるさと納税は、返礼品を準備いただいているJA土幌町や各事業者のご協力により年々増加し、令和3年度約4億円、令和4年度(見込)は約5億円まで増加しました。令和4年度より開始しました企業版ふるさと納税を含めた寄附実績の着実な増加を図るだけでなく、土幌町の魅力を発信するツールとしても活用し、更なる地域好循環を目指してまいりますと存じます。

本町においては、町の担う事務事業が多いこととあわせ、経常収支比率が高い(令和3年度決算85.6%)、状況にあります。第7期行政改革推進大綱の着実な実施により、健全な財政運営に一層留意をしてまいります。

IV むすびに

ポストコロナという新しい時代において、町民の皆様とともに挑戦し続けることで、更に大きく飛躍できるものと考えています。

そのためには、土幌町の未来を切り拓いていくため、全力で町政運営に取り組んでまいります。

令和5年度 教育行政執行方針

「過去を見直し、今を見極め、先を見据える教育」

子ども一人ひとりが夢と希望を持って「生きる力」を身につけるため、異校種間の連携を推進

3月3日に開会した第1回定例町議会において、土屋仁志教育長が教育行政執行方針を述べました。内容は次のとおりです。



I はじめに

教育基本法は、「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない」と、その目的と基本理念を明確にしているところであります。

この理念を踏まえ、町民の信頼と期待に応えるために必要な教育環境を整備し、教育の質を高めていくことは極めて重要であり、令和3年度から5年間の計画期間とする「土幌町教育振興基本計画」に基づき、教育施策の総合的・計画的な推進を図ってまいります。

今日の社会は、人口の減少、少子高齢化に加え、グローバル化、産業構造の変化など数多くの課題を抱えており、これからの社会は、IoTやビッグデータ、人工知能をはじめとする急速な技術革新や、グローバル化の一層の推進などにより、大きく変化することが予想されています。

そうした中、本町の学校教育においては、教育実践のテーマである「過去を見直し、今を見極め、先を見据える教育」を基調とし、子ども一人ひとりが夢と希望を持って「生きる力」を身につけるため、幼・小・中・高の異校種間の連携を推進するとともに、学校はもとより家庭や地域と連携する地学協働の取り組みの充実を図り、「確かな学力・豊かな心・健やかな体」の調和のとれた育成と地域の温かい眼差しの中で、未来を担う子どもたちが人間性豊かで創造性にあふれ、心身ともにたくましく成長するよう充実した教育環境づくりに取り組みます。

また、社会教育においては、すべての人々がスポーツや文化活動など多様な活動に参加し、生きがいを持って心豊かな生活を営み、生涯にわたって学び、その成果が活かせる生涯学習社会を展望しつつ、教育行政を推進してまいります。

II 重点施策

1 学校教育

学校においては、子どもたちがこれからの変化が激しい社会の一員として自立し、たくましく生きていくため知・徳・体のバランスのとれた新しい時代に必要となる資質能力を育成することが極めて重要であります。特に、小・中学校については、義務教育9年間を見通した系統的で継続的な指導の更なる充実を目指します。

また、新型コロナウイルス感染症が子どもたちの学びに影響を与える中、感染対策に取り組みつつ、新しい時代の学びの実現に向けた環境の構築を推進します。

基礎・基本を身につけた確かな学力

・学力向上

学力向上については、全国学力・学習状況調査等の各種検査結果を検証・分析し、具体的な改善策に結びつける系統的で継続的な取り組みを全校体制で行うとともに、学校間で情報を交流・共有するこ

とによって町内全体の学力の向上を目指します。

各学校では、子どもたちの学力向上に向けて、学校改善プランに授業改善を中心とした組織的な校内研修の充実やICTの効果的な活用を図った指導などを具体的に位置づけ、取り組んでいくことを支援してまいります。

・臨時教諭等の配置

土幌町立小学校における学級編制等に関する規則により、町費負担による臨時教諭を配置することで低学年の少人数学級編制等を実施し、個に応じた指導の充実を推進してまいります。

また、必要に応じて臨時教諭、時間講師、支援員を、医療的ケアが必要な児童生徒が就学する学校には看護師の配置を行ってまいります。

・外国語教育

小学校学習指導要領の改訂に伴う中学年の「外国語活動」ならびに高学年の教科としての「外国語」の実施など、外国語教育の抜本的強化が進められております。本町に

おいては、引き続き3名体制の外国語指導助手（ALT）派遣や小・中学校連携等により、児童生徒の外国語に対する興味・関心を高め、「聞くこと・話すこと」などの外国語能力の一層の向上を図ってまいります。

・特別支援教育

特別支援教育については、校内連携会議や特別支援教育コーディネーターを中心に、全職員による特別支援教育の推進体制の充実を図るほか、特別支援教育支援員を要所に配置して、子ども一人ひとりの能力や可能性を伸長するきめ細かな指導・支援に努めてまいります。

また、教育委員会、学校、こども園、保育所等の関係機関の連携組織である「土幌町子育て支援連携協議会」で協議し、特別な教育的支援が必要な子ども一人ひとりに乳幼児期から学校卒業後まで一貫した支援を推進してまいります。

・ICT活用

教科指導におけるICTの活用、児童生徒の情報活用能力の育成、

校務の情報化・効率化の3つの側面を通して教育の質の向上を目指すため、ICT環境等の整備を計画的に進めてまいります。

また、ICTの積極的・有効的な活用を通して、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図り、多様な子どもたちの可能性を引き出し、新しい時代に必要な資質や能力の育成を一層推進してまいります。

・学習サポート

長期休業中の学習サポートは、年を経るごとに内容が充実し、支援体制や家庭との連携の部分でも着実に成果を上げており、今後も全ての小・中学校において、基礎基本の定着や自ら学習に臨む態度の育成等を目指し、更に効果の上がる取り組みにまいります。

教育委員会が平成26年3月から開始した北海道大学の学生による「学習サポート塾」には多くの小・中学生が参加し、学習のみならず、読書や運動等を通して、大学生と楽しく学ぶ機会となっており、今後更に充実を図りながら継続し

てまいります。

・教職員研修等

学校教育の成果は、教職員の資質能力と熱意によるところが極めて大きいことから、教職員が教師力を高める機会を拡充するとともに研修内容の充実を図り、能力を最大限発揮できるよう学校運営を支援してまいります。

そのために、学校教育指導の機会を積極的に活用するとともに、ICT活用能力や主体的・対話的な深い学びに繋がる授業改善などプロ教師としての資質能力を磨く各種の研究会・研修会への参加を積極的に後押しするよう努めてまいります。

また、学校教育に対する信頼を確保するため、教職員の服務規律の徹底に向けた研修の充実を図るとともに、教職員の時間外勤務時間の縮減や校務のスリム化など学校における働き方改革を進めてまいります。

優しさと思いやりの豊かな心

子どもたちが、互いを尊重し、ともに支え合いながら社会の一員

として成長するためには、学校・家庭・地域が連携しながら、心身の健やかな発達を支えていくことが大切です。

・道徳教育

道徳教育の核となる「道徳授業」で学んだことは、他の教科や総合的な学習の時間、特別活動などと連携した視点をもつことにより、自らの生き方について考えを深めることにつながります。命を大切にする心や思いやりの心、公共心や規範意識を育てるため、あるいは、社会性や豊かな人間性を育てるため、「考え議論する道徳」の授業づくりを推進してまいります。

・いじめ防止対策

いじめは、すべての子どもたちが「いかなる理由があろうと、絶対に許さない」という強い認識を持ち、児童生徒が主体的に未然防止に取り組む学校風土を醸成するとともに、教職員が積極的に早期発見・早期解消に取り組む学校づくりを支援してまいります。

各学校においては必要に応じて「いじめ防止基本方針」の見直しを

行うとともに、保護者や地域への説明などで理解と連携を図り、組織的・積極的ないじめ防止対策を推進するよう努めてまいります。

健康とたくましい体力

・体力向上

体力向上については、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を検証・分析し、学校課題に対する具体的な改善策に結びつける取り組みを行うとともに、学校間で情報を交流・共有することによって町内全体の体力・運動能力の向上を目指します。

各学校では、子どもたちの運動の日常化の取り組みの実践と新体力テストの全学年実施や複数回実施を推進してまいります。

・スポーツ少年団活動、部活動

本町の児童生徒は、スポーツ少年団活動・部活動参加率が高く、各種スポーツ競技大会での成果が注目されていますが、健康・体力や運動能力の一層の向上を図る方策として、これらの活動を積極的に支援してまいります。また、部活動の地域移行につきましては、

関係機関との連携を図り、地域の実態を踏まえた組織づくりなどを推進してまいります。

安全・安心な教育環境づくり

学校は子どもたちにとって安全で安心して学ぶ場でなければなりません。通学時の安全対策を含めて、実践的な防災・防犯教育を進めるとともに、子どもたちの安全・安心を確保し、快適に学ぶことができる教育環境を整備するために、家庭や地域・関係機関との連携を図ってまいります。また、自然災害への対応等を想定した「一日防災学校」の取り組みを推進してまいります。

大地くんと学ぼう

本町の特色ある教育の一つである、食農体験学習「大地くんと学ぼう」は、地元で生産される農畜産物などを利用した食品加工体験を通して、地域の産業や食に関する学びなど、管内的にも注目される取り組みであり、農畜産物加工研修施設「しほろキッチン」の有効活用や学習内容の充実を図るなど継続して実施してまいります。

都市交流事業

各小学校間で長い歴史がある都市小学校との交流事業は、子どもたちの日常生活では経験することのできない貴重な体験を通して、人間形成に大きな役割を果たすものと考えます。

令和2年度から3年間は新型コロナウイルスの影響で交流事業は中止となりました。事業実施にあたっては、相互交流を基本とすることから、交流先の理解と協力が必要となりますが、子どもたちの心に残る事業実施に向けて協議を進め、本事業の目的達成に努めてまいります。

学校給食・食育

学校給食では、衛生管理や指導の徹底を図り、食の安全確保に努めてまいります。

地産地消の推進につきましては、「ふるさと給食月間」の設定、土幌町肉牛振興会や土幌高等学校の協力の下、土幌産の食材を生きた教材として活用し、安心できる給食を提供することで、地域の食文化への理解を深める取り組みを進めてまいります。

本町における「お弁当の日」の取り組みについては、家族団らんの機会を増やし、家庭に明るい笑顔をもたらすことにつながることを願い、今後も保護者の理解や協力を得ながらこの取り組みを継続してまいります。

高等学校

北海道士幌高等学校は、農業および農業関連産業の担い手育成をめざし、地域の信頼に応える教育実践を経営方針として学校経営を展開してまいりました。

近年は、少子化の影響から、郡部校の存続が極めて厳しい状況にあるものの、本校の農業教育の実践は、望ましい勤労観や職業観を育むとともに、修学支援制度や海外文化交流事業などを活用し、農業の魅力を伝え地域を支える産業人育成のために大きな役割を果たしているところです。

今後につきましても、本校の特色ある活動や教育の成果、そして、学校の魅力を広く発信することにより、より多くの皆さんの本校に対する興味・関心を高めて、入学

希望者の増加につなげてまいります。

コミュニティ・スクール

子どもたちの健やかな成長を支えるためには、学校、家庭、地域が連携し、地域ぐるみで子どもたちを守り育てる環境をつくる必要があります。

認定こども園を含め町内の全ての小・中・高等学校に導入した「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」の充実を図り、地域住民および保護者の学校運営への一層の参画を促し、学校と地域がより一体となった組織づくりを進めてまいります。

学びをつなぐ学校づくりの実現

学校教育が、保護者や地域住民の期待に応え、子どもたち一人ひとりの資質能力を最大限に伸ばすためには、認定こども園・小学校・中学校・高等学校の各学校段階間の連携・接続を図りながら、管理職がリーダーシップを発揮して学校運営に当たるとともに、教職員がそれぞれの力を発揮できる環境づくりが重要であり、本年度より

小・中学校連携を中核とした「士幌町幼・小・中・高連携教育」を推進してまいります。

2 社会教育

令和4年度から5年間で計画期間とする社会教育中期計画に基づき、各種の社会教育施策を推進してまいります。

町民が生涯にわたって生きがいを持ち、充実した生活を実現するために、それぞれのライフステージに応じた学習活動を行って自己実現を図ることが必要であり、その意味では社会教育の果たす役割は極めて重要であると考えます。

近年、核家族化や少子化などの影響により、家庭や地域の教育力の低下が指摘されています。このため、家庭教育に資する学習活動や、子育てに関する支援事業の充実に努めてまいります。

生涯学習の推進については、いつでも、どこでも、だれが必要に応じて生涯学びあえる環境づくりを進める必要があることから、様々な学習機会の提供に努めてまいります。

ます。

なお、新型コロナウイルスについては、引き続き関係機関などと連携してその対応に万全を尽くしてまいります。

生涯教育・学習機会の充実

少年教育については、サタデースクール、放課後子ども教室、イングリッシュキャンプ、学習サポート塾の継続実施により、自然や生活体験を重視した学習を行い、豊かな人間形成を図る学習機会の充実を図ってまいります。

青年教育については、町づくりの更なる活性化を図るため、青年組織の主體的活動を支援するとともに、若い力の町づくりへの積極的な参加を支援してまいります。

成人一般教育については、生涯学習講座や研修会、出前講座など様々な学習機会の提供に努めるとともに、特に女性活動の推進については、女性ライフスクールの開設、地区女性学級の支援に取り組むほか、女性団体の活動に支援を行ってまいります。

家庭教育については、インター

ネットやスマートフォン等の普及などの社会環境や共働き家庭の増加など家庭環境の変化により、子どもを取り巻く環境が大きく変化している中で、新たな課題が発生しています。

そのため、教育を考える集いやインターネットの講座などの学習機会の提供を行い、家庭教育の充実を図ってまいります。

高齢者教育については、柏樹学級の開設により、スポーツ・ボランティア活動や世代間交流活動を通して心身の健康増進に努め、生きがいのある生活が実現できるよう支援していくほか、豊かな経験を生かした学習活動や社会参加を推進してまいります。

芸術・文化

町における芸術・文化活動は、文化協会加盟団体や各種サークルにより自主的な活動が活発に行われています。引き続き、文化団体への活動支援や芸術鑑賞会、文化祭の開催を行ってまいります。

スポーツ

スポーツについては、健康や体

力の維持・増進のほか、地域コミュニティ形成にも大きな役割を果たすものであり、「町民一人一スポーツ」運動を推進してまいります。

また、町民が個々の体力や健康状態に応じてスポーツに取り組めるよう、初歩的なスポーツ教室や軽スポーツの普及促進に努めるほか、スポーツ推進委員や町体育連盟各競技団体と連携を図り、各種競技大会を開催いたします。

スポーツ少年団活動は、競技技術の向上に加えて、子どもたちの健全育成にも大きく寄与するものであり、指導者の養成や日常活動に対する支援に取り組んでまいります。

社会教育施設

社会教育施設については、複合施設である総合研修センターは、令和5年度より指定管理者制度による業務委託となりますが、これまで通り生涯学習の拠点施設としての役割を果たしてまいります。

今後、いつでも・だれもが学ぶことができる施設として多くの町民の方々に利用していただける

よう、利用者のニーズを的確に把握して、要望に十分応えられるよう、施設・設備の維持・管理に努めてまいります。

また、本町では、各地区公民館が地域コミュニティを形成する場として重要な役割を果たしており、地域住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進に大きく寄与しています。公民館活動推進委員会への継続した支援を行うとともに、公民館施設は各地区の活動拠点であるとともに災害時の避難場所指定されていることから、施設・設備の適切な維持・管理を行ってまいります。

したしみ図書館についても、指定管理者制度による業務委託となりますが、生涯学習のための拠点として、町民の読書要求と学習意欲に応えられる資料を収集・提供するとともに、広く町民に親しまれる図書館づくりに取り組んでまいります。

また、小学校と連携した巡回図書や読み聞かせ等の活動を継続するとともに、ボランティアサーク

ルの育成を図り、子どもの読書活動の推進・充実を図ってまいります。

その他、スポーツ施設についても、施設延命化のため、適切に維持・管理をしてまいります。

Ⅲ むすびに

教育委員会といたしましては、総合教育会議などを通して、これまで以上に町長との連携を図り、士幌町教育大綱に掲げる「輝く未来へ しろ創生」の基本理念の下、今後も次代を担う本町の子どもの健やかな成長と、町民の皆様の活気と潤いに満ちた生涯学習社会の創造をめざし、学校・家庭・地域はもとより、関係機関・関係団体等との連携を深めて本町教育のより一層の充実・発展のため、全力で取り組んでまいります。

3月議会でも可決された主な案件

3月3日から9日まで令和5年第1回定例会が開催されました。条例改正や令和5年度予算などの議案について審議し、原案のとおり可決されました。

○固定資産評価審査委員会委員の選任

山田 英寿 氏
廣長 悦治 氏

○人権擁護委員の推薦

金森 秀文 氏

○行政組織および事務分掌の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例

○土幌町空家等対策協議会設置条例

○土幌町成年後見制度申立審査会設置条例

行政組織および事務分掌の見直しに伴う土幌町課設置条例の改正により、関係条例を整備するもの

○土幌町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例

町民の利便性向上や行政運営の簡素化・効率化に資することを目的に、町が行う各種申請や届出等の行政手続きについて、オンライン実施を可能とするため、条例を制定するもの

○土幌町個人情報保護法施行条例

個人情報保護に関する法律の改正により、条例を制定するもの

○土幌町情報公開条例及び土幌町情報公開・個人情報保護審査会

条例の一部を改正する条例

個人情報保護に関する法律の改正により、条例を改正するもの

○土幌町手数料徴収条例の一部を改正する条例

郵便等による請求可否の区分の廃止および町民に限り書類の送付に要する費用を徴収しないことにより自治体DXを推進するため、

条例を改正するもの

○土幌町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

町LINE公式アカウントにおいて、印鑑登録証明書等の発行を行うため、条例を改正するもの

○土幌町学校給食センター設置条例の一部を改正する条例

学校給食の原材料費や燃料価格等の高騰に伴う学校給食費の改定および子育て支援対策として学校給食費の完全無償化をするため、条例を改正するもの

○土幌町農畜産物加工研修施設設置条例の一部を改正する条例

利用料金の見直しを行い、施設の利用促進を図るため、条例を改正するもの

○土幌町地域生活支援事業の実施に関する条例の一部を改正する条例

障がい者の日常生活および社会生活を総合的に支援するための法律の改正により、条例を改正するもの

○土幌町国民健康保険条例の一部を改正する条例

健康保険法施行令の改正により、条例を改正するもの

○令和4年度補正予算

一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、介護サービス事業特別会計、簡易水道事業特別会計、公共下水道事業特別会計、国民健康保険病院事業会計

○令和5年度予算

一般会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計、介護保険事業特別会計、介護サービス事業特別会計、簡易水道事業特別会計、公共下水道事業特別会計、国民健康保険病院事業会計

みんなで教育を考える集い

3月12日、総合研修センターにて、土幌町教育委員会主催の「第15回みんなで教育を考える集い」が開かれ、約150人が来場しました。

郷土を愛する心を持ち、かけがえのない自他の生命を尊重する心の育成と、他人を思いやりいじめを許さない社会の実現を目指す強い意志と確かな学力を備えた子どもたちの育成を目指し、多くの町民が一堂に会し、子どもの教育を考える機会とすることを目的に開催。近年はコロナ禍により中止となり、今回は4年ぶりの開催となりました。



開会のあいさつで、土屋教育長は「この4年間で教育現場もICTや働き方改革など転換期を迎え、これまで以上に学校、家庭、地域の連携が重要となっている。今後も皆さんの協力をお願いしたい」と述べました。



はじめに、土幌町の文化やスポーツの向上発展に関し、特に実績の顕著な功績をあげた9部門45個人12団体に対し表彰式を行った後、ロンドンオリンピック卓球卓球女子団体銀メダリストの平野早矢香氏を招き「『昨日の自分より一歩前へ』卓球から学んだ挑戦することの大切さ」と題し、講演をしていただきました。

卓球の鬼と称されるほど、卓球へかける思い人一倍だった平野氏。上手くいかない時は、サーブを思い切って変えてみたり、他分野にヒントをもらったり、試行錯誤しながら、常に昨日の自分と比べ、今日が少しでも成長することを意識し、日々練習に励んでいたそうです。



平野氏は「大きな将来の夢をもち、目標を意識しつつ、日頃の課題を達成していくことで成功につながる」と自身の経験から語り、「どんなスポーツもひとりではできない。家族や指導者など、支えてもらっている人に感謝し、ひとりでも多くの自分応援団を結成することがモチベーションにつながる」と呼びかけ、講演を締めくくりました。

表彰者は次のとおりです。(敬称略)

ジュニア文化賞

堀江 いろは

(土幌小学校2年)

第51回丁A共済全国小・中学生交通安全ポスターコンクール 内閣府特命担当大臣賞

ジュニア文化奨励賞

植原 愛羽

(上居辺小学校1年)

令和4年度十勝子ども大会書写の部 特選

荒井 結亜

(士幌小学校2年)

第49回令和4年度J A共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール 佳作

中村 の花

(中士幌小学校2年)

家族の似顔絵コンクール 金賞

久保田 朋

(士幌町中央中学校1年)

令和4年度十勝子ども大会美術作品の部 特選

西部 夏生

(士幌町中央中学校1年)

令和4年度十勝子ども大会美術作品の部 特選

松本 吏湖

(士幌町中央中学校1年)

令和4年度十勝子ども大会技術科作品の部
特選

久保田 颯歩

(士幌町中央中学校2年)

第14回全国理容美容学生技術大会 北海道地区大会ヘアデザイン画部門(中学・高校生の部) 敢闘賞

井尾 光

(士幌町中央中学校3年)

令和4年度十勝子ども大会英語暗唱の部 最優秀賞

士幌町中央中学校 吹奏楽部

(森本蒼生・和田千明・牧野水綺・成田にこ)

第54回帯広地区アンサンブルコンテスト中学生の部 金賞

文化賞

佐藤 圭

(北海道士幌高等学校3年)

第73回日本学校農業クラブ全国大会令和4年度北陸大会 農業鑑定競技会 分野畜産 優秀賞

佐藤 寧音

(北海道士幌高等学校3年)

第73回日本学校農業クラブ全国大会令和4年度北陸大会 農業鑑定競技会 分野食品 優秀賞

松田 莉夢

(北海道士幌高等学校3年)

令和4年度日本学校農業クラブ北海道連盟全道技術競技大会 フラワーアレンジメント競技会 最優秀賞

森本 凱

(北海道帯広農業高等学校3年)

第73回日本学校農業クラブ全国大会令和4年度北陸大会 意見文発表大会 分類I類 最優秀賞

文化奨励賞

木村 萌

(北海道士幌高等学校2年)

令和4年度日本学校農業クラブ北海道連盟全道技術競技大会 農業鑑定競技会 分野農業 優秀賞

テキソエ・トゥート一樹

(北海道帯広工業高等学校2年)

令和4年度北海道高等学校ロボット競技大会
第3位

尾崎 杏奈

(北海道士幌高等学校3年)

令和4年度第52回東北北海道学校農業クラブ連
盟意見発表会 分類Ⅲ類 優秀賞

駒井 愛璃

(北海道士幌高等学校3年)

令和4年度日本学校農業クラブ北海道連盟全
道技術競技大会 農業鑑定競技会 分野農業
優秀賞

西村 梨々花

(北海道士幌高等学校3年)

令和4年度日本学校農業クラブ北海道連盟第
42回全道意見発表大会 分類Ⅱ類 優秀賞

北海道士幌高等学校 畑作専攻班

(中森勇登・石丸響弥・水上泰・丸山由騎)

令和4年度第71回東北北海道学校農業クラブ連
盟実績発表大会 プロジェクト発表 分類Ⅰ
類 優秀賞

北海道士幌高等学校 農産加工専攻班

(小野寺彩花・佐藤寧音・池田茉莉華・高橋祐
弥・田中萌々)

令和4年度第71回東北北海道学校農業クラブ連
盟実績発表大会 プロジェクト発表 分類Ⅱ
類 優秀賞

ジュニアスポーツ賞

鎌田 莉碧

(士幌小学校4年)

2022/2023全日本ノービススピード
スケート競技会札幌大会 小学4年女子 5
00m 第4位

松山 雄世

(士幌小学校4年)

2022/2023全日本ノービススピード
スケート競技会札幌大会 小学4年男子 1
000m 第4位

上野 愛菜

(士幌小学校5年)

2022/2023全日本ノービススピード
スケート競技会札幌大会 小学5年女子 5
00m 第1位/第20回世界ジュニア記念北

海道小・中学生スピードスケート競技大会

小学5年女子 500m 第1位

大野 隆晴

(上居辺小学校5年)

2022/2023全日本ノービススピード
スケート競技会札幌大会 小学5年男子 1
000m 第2位

佐々木 煌平

(士幌小学校5年)

2022/2023全日本ノービススピード
スケート競技会札幌大会 小学5年男子 5
00m 1000m 第1位

鈴木 凱大

(士幌小学校5年)

2022/2023全日本ノービススピード
スケート競技会札幌大会 小学5年男子 1
000m 第2位/第20回世界ジュニア記念
北海道小・中学生スピードスケート競技大会
小学5年男子 500m 第1位

中川 琴葉

(中士幌小学校5年)

2022/2023全日本ノービススピード
スケート競技会札幌大会 小学5年女子 1

000m 第2位／第20回世界ジュニア記念北海道小・中学生スピードスケート競技大会 小学5年女子 1000m 第1位

河村 京葉

(上居辺小学校6年)

2022／2023全日本ノービススピードスケート競技会札幌大会 小学6年女子 1000m 第1位／日清食品カップ 北海道小学生陸上競技交流大会 第40回北海道小学生陸上競技大会 小学6年女子 砲丸投げ 第1位

奥秋 静子

(土幌町中央中学校3年)

令和4年度全国中学校体育大会 第43回全国中学校スケート大会 女子 1000m 第1位、1500m 第2位／令和4年度北海道中学校体育大会第53回北海道中学校スケート大会 スピードスケート競技 女子 1000m 1500m 第1位

鴨下 雪輝

(土幌町中央中学校3年)

バイブダンスコンペティションジェイアルエス2023 ジュニア部門 優勝

土幌町中央中学校スピードスケート女子チーム
(鎌田璃子・富田凜・上野結菜・奥秋静子)

令和4年度全国中学校体育大会 第43回全国中学校スケート大会 女子団体 第1位／令和4年度北海道中学校体育大会第53回北海道中学校スケート大会 スピードスケート競技 女子団体 第1位

ジュニアスポーツ奨励賞

佐々木 渚美

(土幌小学校1年)

第44回全十勝スポーツ少年団交歓会小学1年女子総合 第1位／第68回全十勝児童スケート選手権大会 小学1年女子総合 第1位／第38回全十勝スピードスケート土幌大会 小学1年女子総合 第1位

上野 光輝

(土幌小学校2年)

2022釧路新聞社杯釧路根陸上競技大会 小学1、2年生男子 100m 第1位

大野 蓮之佑

(上居辺小学校2年)

第44回全十勝スポーツ少年団交歓会小学2年男子総合 第1位／第41回全十勝ミニスプリ

ント選手権大会 小学2年男子総合 第1位
／第68回全十勝児童スケート選手権大会 小学2年男子総合 第1位

吉田 えるの

(土幌小学校4年)

2023年北・北海道スキー技術選手権大会 小学女子の部 第1位

奥秋 優大

(土幌小学校6年)

第38回全十勝スピードスケート土幌大会 小学6年男子総合 第1位

小野寺 仁菜

(上居辺小学校6年)

第40回北海道小学生陸上競技大会 帯広会場 小学6年女子 800m 第2位／サーキット陸上競技大会第3戦小学6年女子 800m 第2位

野口 夏帆

(土幌小学校6年)

第40回北海道小学生陸上競技大会 小学6年女子 走り幅跳び 第3位／第40回北海道小学生陸上競技大会 帯広会場 小学6年女子 走り幅跳び 第1位／第38回全十勝スピード

スケート士幌大会 小学6年女子総合 第1位／サーキット陸上競技大会第3戦 小学6年女子 走り幅跳び 第2位

上野 結菜

(士幌町中央中学校2年)

令和4年度北海道中学校体育大会 第53回北海道中学校スケート大会 女子3000m 第6位／第41回全十勝中学校対抗陸上競技大会 兼 第53回北海道中学校陸上競技大会女子 走り幅跳び 第2位／令和4年度全十勝中学校体育大会 第69回全十勝中学校体育大会冬季スケート大会 女子3000m 第2位

塩谷 耕平

(士幌町中央中学校2年)

第40回全十勝新人陸上競技大会 男子800m 第1位

寺町 いろは

(士幌町中央中学校2年)

第23回北海道中学校新人剣道大会 女子団体戦 第3位／第24回全十勝中学校秋季剣道大会 女子個人 準優勝

鎌田 璃子

(士幌町中央中学校3年)

令和4年度北海道中学校体育大会 第53回北海道中学校スケート大会 女子 500m 第3位

篠原 世風

(士幌町中央中学校3年)

令和4年度北海道中学校体育大会 第53回北海道中学校スケート大会 男子500m 第6位

上士幌ミニバスケットボール少年団

(北嶋一翔・久田春輝・小川晴澄)

北海道ミニバスケットボール・サマーフェスタ十勝地区予選 優勝

士幌ユニバース

(篠原帆高・星屋夢花・岩井瑠香・服部瑚奈・山田悠乃・蛭澤真矢・佐藤奈穂・中村梨愛・中藪日菜・服部唯奈・尾藤杏莉・野村愛嘉・杉本駿希・山田悠仁・小野梨恵奈・瀬戸陽希・松野希助・相澤千尋)

第41回全十勝スポーツ少年団バレーボール交流大会 兼 第20回北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会 十勝地区予選 女子の部 準優勝

士幌陸上クラブ5年生女子チーム

(上野愛菜・中川琴葉)

第40回北海道小学生陸上競技大会 帯広会場 小学5年女子 4×100mリレー 第2位



／サーキット陸上競技大会第3戦 小学5年
女子 4×100mリレー 第2位

士幌陸上クラブ6年生女子チーム

(小野寺仁菜・河村京葉・野口夏帆)

第40回北海道小学生陸上競技大会 帯広会場
小学6年女子 4×100mリレー 第2位
／第30回北海道陸上競技フェスティバル帯広
会場 兼 秋季記録会 第1戦 小学6年女
子 4×100mリレー 第2位

士幌町中央中学校サッカー部

(川村嘉輝・小椋蒼空・島田瑛音・川村豪毅・
田中泰芽・坂井太一・棚橋柚稀・高橋諒丞)

令和4年度全十勝中学校体育大会 秋季サッ
カー大会 準優勝

士幌町中央中学校女子バレーボール部

(テキソエ由貴・蛭澤彩矢・富田凜・細井姫
来・小野寺茜音)

令和4年度全十勝中学校体育大会全十勝中学
校秋季バレーボール大会 準優勝／令和4年
度北海道ジュニアバレーボールキャンプ 帯
広地区 第2次キャンプ予選会 優勝／令和
4年度全十勝中学女子選抜優勝バレーボール
大会 準優勝

士幌町中央中学校スピードスケート男子チーム
(赤間惺・佐藤史弥・塩谷耕平・篠原世風)

令和4年度北海道中学校体育大会第53回北海
道中学校スケート大会スピードスケート競技
2000mR 第2位



スポーツ賞

坂本 頼武

(白樺学園高等学校1年)

第75回北海道高等学校陸上競技選手権大会
男子走高跳 優勝

奥秋 智佳

(白樺学園高等学校2年)

中島 涼太

第75回北海道高等学校スケート競技・アイス
ホッケー 競技選手権大会 女子 1500
m 第1位、3000m 第3位、2000
mリレー 第1位、パシュート 第1位

(北海道帯広農業高等学校3年)

第46回全日本ジュニアスピードスケート選手
権大会 男子チームパシュート 第2位

スポーツ奨励賞

永井 祐輝

(北海道帯広工業高等学校1年)

令和4年度全十勝学年別卓球大会 1年男子
シングルス 準優勝

スポーツ功労賞

故 藤村 博

士幌町スケート協会に理事として40年余り在
籍し、町内各種大会および全十勝小中学校選
抜スピードスケート選手権大会の記録システ
ムの構築に携わった。平成13年からは士幌町
スケート協会副会長として本町スケート競技
者普および発展に尽くしました。

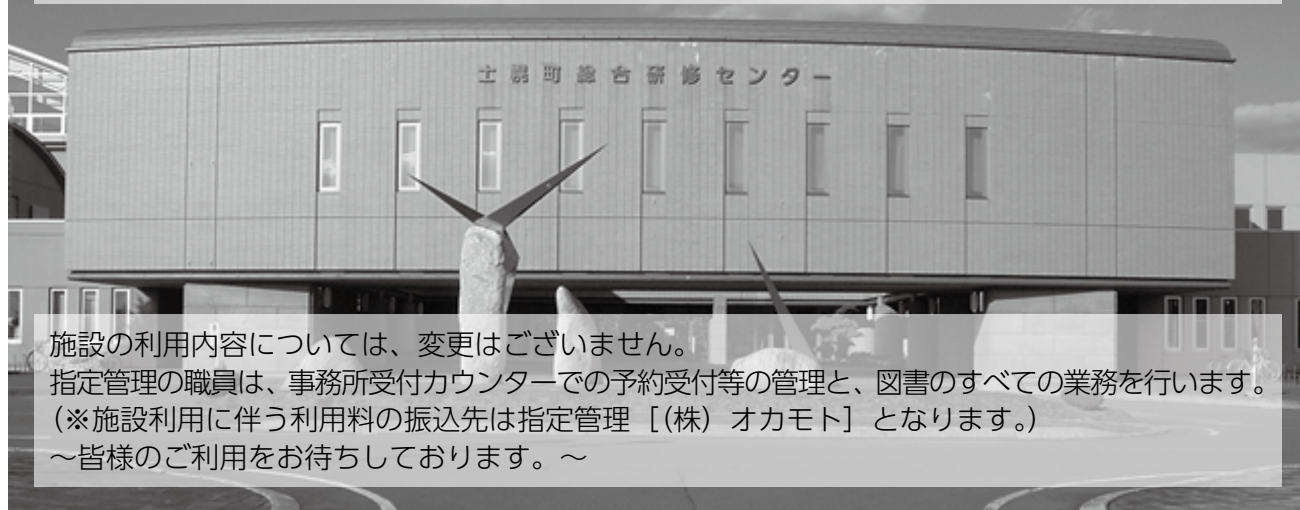
4月から指定管理制度を導入します ～士幌町総合研修センター～

指定管理制度とは、公共施設の管理・運営を、地方自治体が指定する民間事業者に代行させる制度です。民間のノウハウを活用し、住民サービスの向上と経費の削減、行政の効率化を図ることを目的としています。

士幌町総合研修センターでは、4月1日より指定管理制度を導入し、受託業者である株式会社オカモトが施設利用予約受付や図書館での本の貸出業務などを行います。

●施設の利用について

- ・開館時間 9:00～22:00（ただし、すこやか体育館は21:30まで、したしみ図書館は10:00～18:00までです）
- ・休館日 毎週火曜日と年末年始（12月29日～1月3日）
- ・申込み **指定管理者** 株式会社オカモト 電話01564-5-2281
※受付時間 8:30～17:15（月・水～金）



施設の利用内容については、変更はございません。
指定管理の職員は、事務所受付カウンターでの予約受付等の管理と、図書のすべての業務を行います。
（※施設利用に伴う利用料の振込先は指定管理【(株)オカモト】となります。）
～皆様のご利用をお待ちしております。～

総括責任者からのごあいさつ（株式会社オカモト 金徳 聖也）

この度、4月1日付で士幌町総合研修センターに館長として着任することになりました、「きんとく せいや」と申します。

音更町総合体育館の責任者を5年間務めさせていただき、子どもの体操教室や大人向けのフィットネスレッスン・トレーニング指導などをさせていただいておりました。

趣味はミニバレーで、ぜひ皆様と一緒にプレイ出来たらと思います。

今までに培ってきたノウハウを行政サービスの代行者として町民の皆様に還元出来たらと考えております。

不慣れな部分もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



お問い合わせ

（指定管理者）株式会社オカモト

01564-5-2281（※施設の予約等）

（担当）教育委員会教育課社会教育係

01564-5-4733

茶の間 まちの動き

地域住民の力作がずらり

～中土幌公民館まつり～

2月12日、中土幌公民館にて地域住民のふれあいなどを目的とした「中土幌公民館まつり」(中土幌地区公民館活動推進委員会主催)が3年ぶりに開催されました。例年は園児や児童らの芸能発表が行われていますが、今年は新型コロナウイルスの影響により中止。地域住民ら50人の作品が展示され、来場者には日用品などが当たる抽選会が行われました。

この日は、地域住民ら約80人が来場。訪れた来場者は、会場に並んだ中土幌小児童の絵画や地域住民の手芸作品などの力作に魅了されていました。



全国大会3年ぶり4度目の優勝！

～中央中学校～

2月4～7日に長野県にて開催された第43回全国中学校スケート大会のスピードスケート競技に出場した土幌町中央中学校の生徒が2月13日、高木町長を尊敬訪問しました。出場した生徒は3年の篠原世風さん、奥秋静子さん、鎌田璃子さん、2年の赤間惺さん、塩谷耕平さん、上野結菜さん、1年の富田凜さんの7人。大会の結果は奥秋さんが女子10000mで優勝、1500mで準優勝、上野さんが女子3000mで8位に入賞。そして、女子学校対抗は3年ぶり4度目の優勝に輝きました！



～すごいぞ！しほろっこ♪～

この日、大きな優勝カップやトロフィーなどを持って町長応接室を訪れ、大会結果を報告しました。奥秋さんは「個人としては、2冠と自己ベスト更新の目標を達成できなかったのが悔しい気持ちもあるが、周りの方々や両親には感謝したい。高校でも競技を続けるので、更に練習を重ねてインターハイで結果を残したい」と力強く語ってくれました。

土幌町教育委員会では生徒の活躍を讃え、役場庁舎と土幌町総合研修センターに祝福の横断幕などを掲げています。

岐阜県美濃市との給食交流

～各小中学校～

2月20日、土幌町の姉妹都市である美濃市(岐阜県)の6年生がお互いの市・町を訪問し交流を深める「土幌町・美濃市児童交流事業」が今年度も中止となったため、昨年度に引き続き給食を通じて美濃市との交流をしました。

本町からは「しほろ牛」を提供し、美濃市からは「鮎の開き」を提供していただきました。

この日のメニューは、美濃市から提供いただいた「鮎の甘酢がけ」、ごはん、みそ汁、肉じゃが、牛乳が提供されました。

交流対象の6年生は、「頭からしっぱまで、やわらかくておいしかった」、「今まで食べたことのない食感でおいしかった」と食べた感想を話してくれました。

鮎を初めて食べる人が半数以上で、大変貴重な機会となりました。



スキー全道大会出場報告

～土幌基礎スキー少年団～

2月20日、第12回北海道ジュニアスキー技術選手権決勝大会（3月4～5日、比布町）に出場する町内の小・中学生が教育委員会を訪れ、大会への出場報告を行いました。

同大会には、各ブロック大会で上位入賞した6人が出場し、教育委員会にはこのうち5人が訪問。一人ひとりが「入賞を目指したい」「高学年に負けずに頑張りたい」などと抱負を述べ、土屋教育長は「目標達成に向け、練習を頑張ってください。健闘を期待しています」とエールを送りました。

ジュニアユース（中学生）の部に出場する井澤泉里さん（中央中2年）は「小さい頃から練習をしてきたスキー。来年は受験のため、今年が中学最後の大会となるので、入賞目指して頑張りたい」と力強く語ってくれました。



～すごいぞ！しほろっこ♪～

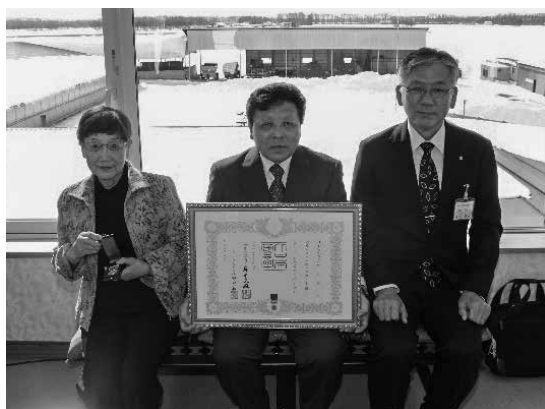
紺綬褒章を受章

～鈴木洋一さん～

2月22日、紺綬褒章を受章した元土幌町議会議長の鈴木洋一さんへの伝達式が行われました。

この褒章は、公益のために私財を寄附した個人または団体が、天皇陛下より表彰されるものです。鈴木さんは町へ多額の寄附をしていただき、この日、ご自宅にて高木町長から章記と褒章が手渡されました。

鈴木さんは「今から約50年前より、老後の資金としてコツコツ積み立ててきたが、今現在、ありがたいことに夫婦ともに健康なため寄附を決めた。福祉のまちづくりへと役立てて欲しい」と話していました。



～心より感謝申し上げます～

行政相談出前教室

～土幌高校・土幌町中央中～



総務省北海道管区行政評価局釧路行政監視行政相談センター職員3名と土幌町行政相談委員の庄司光恵委員が高校と中学校を来校し、行政相談出前教室が行われました。

2月21日は土幌高校1年1組と1年2組、3月7日は中央中3年生を対象に、同センターの松山海智業務係長が日常生活と行政の関わりや行政相談の仕組みなどを説明。庄司委員は、土幌町で実際にあった相談や改善事例を紹介しました。

生徒らは行政体験として「跨線橋の階段の滑り止めが壊れていて危険なので、直してほしい」という相談について、修繕工事の完了までに3か月必要なため、その期間、利用者の転倒を防止する方法についてグループワークを行い、解決方法を話し合いました。

松山業務係長は「困ったら、一人で悩まず行政相談を利用してほしい」と呼びかけました。

第39回町民体育祭（ミニバレー競技） 兼第47回町内小学生交流ミニバレー大会

～町民一人一スポーツ～



2月25日、町総合研修センターにて、第39回町民体育祭兼第47回町内小学生交流ミニバレー大会（町・町教育委員会主催）が開催され、小学生の部6チーム、一般の部2チームの合計8チーム43名が参加しました。

小学生の部は3チームごとの総当たりのリーグ戦の後、決勝トーナメントで順位を競い、一般の部は交流試合が2試合行われました。

各チーム白熱した戦いが繰り広げられ、ミニバレーをとおして交流を深めました。



【大会結果】
小学生の部
●優勝
上居辺A
●準優勝
弱者
●第3位
パキラ

マイホーム建設支援補助金交付

（マイホーム建設支援事業）

町内で新居を建てられた永森栄樹さんと河部貴志さんに「マイホーム建設支援補助金」が交付されることとなり、2月28日に永森さんへ90万円（うち半額相当が商工会商品券）が亀野副町長から手渡され、3月1日に河部さんに90万円（同）が高木町長から手渡されました。

町は、移住・定住者の増加を図るため、町内に初めてマイホームを持ち、10年以上定住される方に補助金を交付しています。



補助金の使い道について、永森さんは「家具や家電の購入に使いたい」、河部さんは「家具などを購入したい」と話していました。



補助制度等の詳細は、町公式ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

二次元コード→



第51回芸能発表会

土幌町文化協会



3月5日、総合研修センターにて、土幌町文化協会(吉田静二会長)主催の第51回芸能発表会が3年ぶりに開催され、150人が訪れました。

ステージには7団体44人が出演し、舞踊、大正琴、剣詩舞、詩吟、コーラスなどを披露しました。

また特別出演として、アメリカカロサンゼルスで開催されたヒップホップダンスの世界大会「VIBE Dance Competition(バイブ)」で大会4連覇を果たした、新潟を拠点に全国的に活動するダンスコミュニティ「ChibiUnity(チビユニティー)」のメンバーである鴨下雪輝さん(中央中3年)の華麗なダンスが披露され、会場を沸かせました。

出演団体は次のとおりです。

- 【舞踊】藤悦津会、芳彦会
- 【大正琴】ひまわり会、大正琴士幌蘭
- 【剣詩舞】聖月流剣詩舞士幌同好会
- 【詩吟】土幌吟友会
- 【コーラス】コーラスこもれば



人の動き

5,873人(-63) 男2,884人(-41) 女2,989人(-22) 世帯2,755(+16)

※2月末現在()は前年比

3月4日、県道上野関線の「大矢田もみじトンネル」の開通を記念した式典が行われ、関係者約150人がトンネルの開通を祝いました。トンネルは全長623メートル、車道幅員5.5メートルの片側一車線で、県事業として平成15年度に採択され、平成30年度に整備が始まりました。大型の対向車によるすれ違いが困難だった旧道の大矢田トンネルより全体の幅が約3メートル広がり、歩道や防災設備などが整備されるなど、安全性が大幅に上がっています。式典では、かえで保育園の年長児による歌や踊りの披露や、関係者によるテープカットとくす玉割り、車両パレードが行われ、歓迎ムードに包まれました。

「大矢田もみじトンネル」の開通式典が行われました



▲武藤市長は「住民の大きな夢が実現した。住み続けられる地区にしたい」とあいさつしました。

美濃のまちから

退職者(管理職)のご挨拶



前建設課
課長
田中 敏博

この度、3月末日をもちまして、士幌町役場を退職いたしました。

昭和63年に奉職以来、35年に渡り建設課一筋に勤務させていただきました、建設行政に携わる事ができ、微力ではあります。道の駅の整備や耐震改修など、時々施策に沿った多くの建物や事業に関わらせていただくことができました。

この間、町民の皆様をはじめ職場の先輩同僚にも恵まれ、ご指導ご支援を賜り、職責を努め終えることができましたことに、心より感謝とお礼を申し上げます。

今後は、在職中に皆様から賜りました教訓を糧に、「日々全力」という心情を胸に、過ごして参りたいと存じます。

最後になりますが、士幌町の益々の発展と皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、退職の挨拶とさせていただきます。



前保健福祉課
課長
藤村 延

この度、3月末日をもちまして町職員を定年退職いたしました。

昭和57年4月、町職員として奉職させていただきました41年間、町民の皆様、職場をはじめ関係機関の皆様のご指導、ご支援、ご協力により長年の勤務を終えることができましたことに、心よりお礼申し上げます。出納係、総務課、消防署、教育委員会、保健福祉課、産業振興課、高校と色々な仕事をさせていただきましたが、特に最後の3年間は、ワクチン接種をはじめ新型コロナウイルス感染症対策等に対し、ご心配をおかけしましたが皆様のご支援とご協力により、ワクチンは、なんとか大きな事故もなく、希望される60歳以上の方等には5回目接種を無事終わることができましたことに改めて感謝申し上げます。

今後は、この貴重な経験を次の人生に生かしていきたいと思います。

最後になりますが、士幌町のますますのご発展と町民皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、退職のご挨拶とさせていただきます。本当にお世話になりました、ありがとうございます。



前国民健康保険病院
総括科長
小野寺 誠二

この度、3月末日をもちまして定年退職いたしました。平成12年の奉職以来、士幌町国民健康保険病院で理学療法士として23年間、勤務してまいりました。

この間、多くの町民の皆様、関係機関の皆様はじめ、先輩同僚からの温かいご指導、ご協力を賜わり、何とかその職責を勤め終えることができました。改めて、心より感謝とお礼を申し上げます。

今後は在職中に賜りました教訓を生かし、次の人生を過ごして参りたいと思います。結びに、士幌町の益々の発展と皆様のご健勝とご多幸をご心からお祈り申し上げ、退職のご挨拶とさせていただきます。

町民皆様のご指導とご支援に心から感謝申し上げます

健康・イキイキ・ライフ

地域包括支援センターって??

地域包括支援係 今 華苗



地域包括支援
センターって
何をする場所?

高齢者とその関係者が
介護・医療・保険・福祉などの
生活上の困りごとがある際に
支援を行う

例えばこんな時…

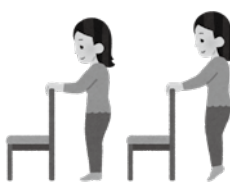
- 親が急に介護が必要になった、どうしよう…
- 最近物忘れがひどくなってきたような、心配。
- 介護サービスって何? どうしたら良い?



総合相談窓口

です!

- 介護予防のために運動教室って何かある?
- 外出することが減り、引きこもりがちになっている。
- 近所に1人暮らしの方がいて心配。



- お金の管理に自信がなくなってきた。
- 悪質商法、オレオレ詐欺の被害にあわないために
- 隣から大きな声や音がして心配



困ったときには
包括へ!!
いつでもお気軽に
ご相談ください!

■お問い合わせ 総合福祉センター内 保健福祉課地域包括支援センター 電話5-2188



こどもだより

自信をもって、あなたらしく

認定こども園長 渋谷 浩



3月に卒園証書を手にした年長児さんは、4月からはピカピカの小学校1年生となります。

振り返りますと、今年の卒園児は以上児クラスで過ごした3年間は“コロナ禍”に見舞われた期間でした。また今まで当たり前のようにしてきたことが、できなくなってしまったことがたくさんあった3年間でもありました。それでも、「できることを、できるかたちで」と保護者、先生方が知恵と工夫を重ね、全力で乗り越えてきました。誇らしげに卒園証書を手にした皆さんは、とっても大きく成長した姿を見せてくれました。

これからの時代は「予測困難」と言われています。今回の“コロナ禍”のように、新たな課題に直面しても「生き抜く力」が求められます。そのためには「自分なりの考えをもつこと（個別最適な学び）」と「仲間と力を合わせる（協働的な学び）」が大切です。

皆さんが「自信をもって、あなたらしく」小学校へ元気に通うことを、先生方もお父さんお母さんも土幌のみんなも、全員が願っています。ファイト！オー！！



【コロナ禍を乗り越えて、たくましく羽ばたく、らいおん組とぞう組の子どもたち】

連絡先 認定こども園なかよし 幼児教育課 電話5-2364 (相談専用) 電話5-2502



特養だより



『バレンタインデーに特別献立を提供！』

今回、町民全員に配布のありました飲食店専用クーポン券の特養入居者様への活用として、2月14日に道の駅ピア21しほろの「にじいろ食堂」にシーフードグラタンとパンナコッタの調理を依頼し、ホームの昼食に提供しました。栄養価の高い牛乳・乳製品と土幌産食材を使用した料理であり、入居者の皆様が食べやすいように食材の大きさ、固さにも十分配慮をいただいたホーム特注の特別献立となりました。

入居者様は、焼きたての香ばしいにおいと味のグラタンと、土幌産ハスカップソースがかかったパンナコッタを食べ大変美味しいと喜ばれました。コロナ禍で外出・外食機会がない入居者様にとってホームにいながら外食気分を少しでも味わうことができたのではないかと考えています。



現在も感染症が続いており平時には戻れていませんが、行事を通してホームの中でも季節を感じ、楽しんでいただけるよう取り組んでいきたいと考えています。



連絡先 特別養護老人ホームほほえみ 電話5-2416

医療連携・相談室について

総看護師長 福田 尚恵

国では2025（令和7）年を目処に地域包括ケアシステムの構築を推進しています。

地域包括ケアシステムとは要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるよう地域内で助け合う体制のことで、「時々入院、ほぼ在宅」ということが推奨されています。

このような中、スムーズな入退院支援や在宅移行支援を行うことが今後の病院看護の役割となっています。

当院では、独居の方、ご家族の都合で在宅へ戻れない方、医療処置があり在宅や特老へ戻れない方など、お一人おひとりの意思決定を支援し、最善と考える方向性をご本人様やご家族様、他職種と調整し状態に合わせて柔軟にご対応する窓口として、令和5年4月より医療連携・相談室を準備します。

看護師2名を配置し、医療施設との「前方連携」、「後方連携」、町民の皆様からの「ご相談やご要望」に応えていきたいと考えています。「前方連携」とは患者様が医療機関に受診・入院する際に行う連携のことで、「後方連携」とは、患者さんの退院後の生活を過ごしやすくするために行う連携のことです。

地域の各医療施設と協力し、質の高い継続性のある医療を提供するため、地域の病院や介護施設等とのパイプ役として活動します。

医療連携・相談室を通し、町民の皆様の色々な医療相談にご対応させていただきながら、今後ますます高齢化と慢性疾患高齢者が増えていくことが予測される土幌町にとってどのような病院のあり方が望ましいのか、どのような形で医療を継続させていくことが良いことなのか、町民の皆様と一緒に考えていく場としたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。



安全・環境だより

子どもを交通事故から守りましょう

春先は小学校低学年の児童が道路に飛び出し、事故に巻き込まれるケースが多く発生しています。小さなお子さんを持つご家庭では、日頃から正しい横断歩道の渡り方、信号機の見分け方など交通规则を身につけさせ、交通事故にあわないようにしましょう。

ドライバーの皆さんは、いつも子どもが飛び出してくるかわかりません。時間にゆとりを持ち、すぐに止まれるスピードで走行し悲惨な交通事故を起こさないようにしましょう。



運転免許自主返納の臨時窓口を開設しました

2月24日、町と帯広警察署は、役場にて運転免許自主返納臨時窓口を開設しました。

運転免許証の自主返納は、帯広警察署や帯広運転免許試験場で行うことができますが、手続きの負担軽減を図るため、帯広警察署が臨時窓口を役場に開設しました。

運転免許の自主返納と同時に身分証明書にもなる運転経歴証明書の交付申請も行いました。



大型ごみ・小型家電・鉄・金物類の回収

4月は、大型ごみ・小型家電・鉄金物の回収月です。ごみの出し方を守り忘れずに出ししましょう。

●大型ごみ

45リットルの指定袋に入らない物は大型ごみです。大型ごみシールを貼って出してください。

(長さが2m、重さが100kgを超える物は収集出来ません)

●小型家電

45リットルの袋に入る、コンセントまたは電池を使用する電化製品が対象になります。

●鉄・金物類

透明・半透明の袋に鉄・金物類だけを入れて出してください。

袋に入らない大きな鉄・金物類(例 自転車等)は大型ごみのシールを貼らずに出してください。

(長さが2m、重さが100kgを超える物は収集出来ません)

前年度とのごみ発生量の比較

2月は前年度と比較してごみの発生量が減少しています。

資源として分別できるものはリサイクル業者等へ持ち込むなどごみの減量にご協力をお願いします。

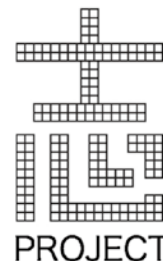
今月のごみ指数

単位: kg

	令和5年2月分	前年同期	増減
燃やせるごみ	53,040	55,710	△4.8%
燃やせないごみ	8,750	9,370	△6.6%
合計	61,790	65,080	△5.1%
町民一人当たりのごみの量	5.873 10.5	5.936 11.0	
資源ごみ	35,890	38,312	△6.3%

ごみに関するお問い合わせは、町民課生活環境係(☎5231)までお願いします。

いま、土幌高校では



弥生3月、旅立ちの季節です。

今年も45名の卒業生たちが土幌高校を巣立っていきました。振り返ると、新型コロナウイルスの影響で、密になりたいのに密にできない学校生活を強いられた3年間でしたが、皆で知恵を出し合い、互いの創意工夫により、充実した学校行事の運営や有意義な高校生活となるよう努力を惜しまなかった3年間でもありました。

また、町民の皆様には今年度も大変お世話になり、ありがとうございました。次年度も引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。(3月6日現在)

◆3月1日(水)卒業証書授与式挙行

本校体育館において、第70回卒業証書授与式を挙行了しました。アグリビジネス科24名、フードシステム科21名、合計45名の卒業生は皆、笑顔でそれぞれの進路に向けた旅立ちの日を迎えることができました。お世話になった関係各位には改めて感謝いたします。



一人ひとりに手渡しで卒業証書を授与しました

3年1組 担任 米長 時正

〈卒業式を終えて一首〉

二十四の倍の瞳に笑顔咲く

今日^{ことは}寿ぎの空の青さよ

彼等の新しいスタートラインとして、立派に送り出すことができました。感謝感涙、胸一杯です。



アグリビジネス科



フードシステム科

3年2組 担任 山下 美登里

不安な表情で迎えた入学式から3年が経ち、いつまでも幼いと思っていた生徒たちでしたが、いつしか大人の表情へと変化し、頼もしいと思えるようになったのも保護者の皆様の支えがあったからだと思っています。3年間ありがとうございました。

【4月の予定】※行事は全て予定です。

○年度始休業	7日
○始業式・着任式・入学式	10日
○新入生対面式	11日
○海外文化交流学習会	12、20、26日
○級内意見発表(1年生)	13日
○必修クラブ	20日
○年度始総会・プロジェクト計画発表	28日
○授業参観・PTA 総会	29日



ホームページや Facebook・Instagram でも紹介していますのでぜひご覧ください。



令和4年度

小・中学校卒業式

中央中学校は3月15日(水)、小学校3校は3月24日(金)に令和4年度の卒業式が執り行われました。今回の卒業式は感染防止対策が緩和されて、児童生徒と教職員についてはマスクなしを基本に開催されました。また、今年については呼びかけや合唱も実施されるなど、子どもたちや先生方が工夫をこらした心温まる式が行われました。しかし、保護者の皆さんのマスク着用や来賓の皆さんの参加自粛など、コロナ前にはまだ戻っていない面もある今年の卒業式となりました。

中学校の卒業生の皆さんは、コロナの急速な感染拡大が始まり慌ただしい中で小学校を卒業して、中学校生活でも臨時休校や行事の



中止や縮小などの活動の制限、そして、日常的なマスクの着用もあり、何かと不自由な学校生活が続いてきました。感染状況も移り変わり、3年生になってからは、修学旅行や部活動の大会なども予定通り実施されるなど、少しずつですが思い出も増えて卒業を迎えることができたと思います。

式は感染対策のため、1年生はリモートでの参加となりましたが、2年生や保護者が見守る中、卒業生が少し緊張した面持ちで入場して式が開始されました。

マスクをしていない卒業生一人ひとりが校長先生から卒業証書を受け取る姿やさわやかな笑顔がとても新鮮に感じられました。



昨年は卒業生・教職員と保護者のみの卒業式でしたので、卒業式の雰囲気を知らない卒業生や2年生には、感慨深いものがあったものと思います。また、式を通した卒業生の凛とした姿や落ち着いた振る舞いから、中学校3年間で心身ともに立派に成長したことが強く感じられました。

この度、教育活動におけるマスク着用の考え方が見直されることになり、個人の判断に委ねられることが基本となります。

子どもたちの活動制限も緩和され、コロナ前のように活発に動き回ったり、笑顔で会話をしたりする姿がまた見られることを大いに期待しています。

令和4年度総合教育会議が開催されました

「総合教育会議」は、地方公共団体の長(町長)と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的に行われる会議です。

2月27日、総合研修センターにおいて、高木町長、土屋教育長、教育委員4名が出席して本年度の会議が開催されました。

会議では「士幌町幼保小中高連携教育の推進」「GIGAスクール構想における取組」「士幌高校の振興策」「学校給食の無償化」の4点の現状や今後の取組について担当職員から説明を受けて協議が行われました。

GIGAスクールについては、各学校でのICT機器の活用の様子を動画で視聴するとともに、教育研究所に新設されたICT推進部会の取組によって各学校における活用が着実に広がってきていることを確認しました。また、児童生徒ならびに保護者の情報リテラシーの理解と定着などについて意見交換が行われました。

町民文芸



俳句

・夢のせて車くるまの周囲風光る

和田 節女

川柳

・命かけ世界平和になる日まで

和田 節子

短歌

・朝早やに北の空には気球が飛び久しぶりにと刻を忘れて

清水さよ子

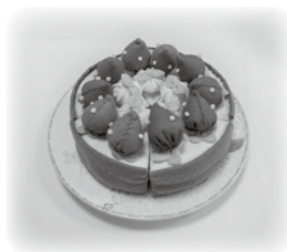
・凍る夜湯ぶねにゆったり浸るとき地震の被災者まぶたに浮かぶ

三木 悦子

ハンドメイド

フェルト

青木ひとみ



バトンタッチ



安全第一



新生

小倉 拓也 さん

プロフィール

◆家族構成◆

単身

◆士幌で好きなもの◆

スナック 田園

◆旅行に行くとしたら？◆

沖縄（海に行きたい）

拓也さんは帯広市出身。市内の中学校を卒業後、士幌高等学校フードシステム科へ進学しました。進路に悩み、クラスの中でも最後まで決まっていなかったところ、就職説明会で株式会社北海道フーズに出会いました。

「正直、待遇面にひかれたところが少しはある」と笑う拓也さんですが、高校で食品加工や流通を学んだこともあり、士幌町で就職することを決断しました。

現在は、調理食品部に在籍し、コロッケの製造に携わっています。

製造機械の種類も多く、点検や整備などに苦労されているそうですが、機械での作業は大きなケガにつながる恐れもあり、また安心安全な食品を提供する者として、何事も「安全」を第一に心がけて、日々仕事に臨んでいます。趣味は旅行。各地のイベントに参加したり、景色を眺めたりするのが好きだとか。

また最近のおうち時間でハマったNetflix[®]で、ジャンルを問わず色々な映画を見ているそうです。

「いつかは沖縄へ行ってみたい！」とアフターコロナの計画を立てている拓也さんでした。

今回は、みどりの菅野澤さんに

バトンタッチ。拓也さんから澤

さんへ一言。「がんばれ」

したしみ図書館 新しく入った本

【児童書】

ごみしゅうしゅうしゃのぼいすくん (鎌田歩)
さかなくん (しおたにまみこ)
どこでもタグシー (鈴木まもる)
ぴょん (高畠純)
おばけのかわをむいたら (たなかひかる)
カモシカとしゃかん (水上悦子)
フライパンヤア (加藤休三)
ロボットは泣くのか? (佐藤まどか)
作ろう! フライドチキンの骨格標本 (志賀健司)
これから、リッキーといっしょ (片山優子)
食いねえ! お寿司まるごと図鑑 (阿部秀樹)
神永くんは知っている (神戸遥真)

【一般書】

朝星夜星 (朝井まかて)
地図と拳 (小川哲)
ゆうべの食卓 (角田光代)
弁当屋さんのおもてなし 1-6 (喜多みどり)
真珠とダイヤモンド (桐野夏生)
最後のひと (松井久子)
婚活食堂 8 (山口恵以子)
方舟 (夕木春央)
永田町動物園 (亀井静香)
アイヌ力よ! (宇根静恵)
検証ウクライナ侵攻10の焦点 (朝日新聞取材班)
わが子、夫、妻…。大切な家族が「適応障害」と診断されたとき読む本 (浅井逸郎)
徹底カラー図解新世代の自動車のしくみ (野崎博路)

★鬼滅の刃 ノベライズ 8 カナヲと無一郎! 命をかけた闘い編 (はのまきみ)

鬼舞辻無惨の根城、無限城にて、上弦の鬼と戦う鬼殺隊。伊之助とカナヲは家族の仇である上弦の式・童磨の強力な血鬼術におそれ絶体絶命に。城内では、無一郎と実弥が上弦の壱・黒死牟と交戦し…。コミックスのノベライズ。



★まるごとバナナが、食べきれない (大久保佳代子)

家族、恋愛、友情、仕事、そして一人で生きること…。オアシズ・大久保佳代子の半世紀、特に人生の分岐点であった40代を、食の思い出を通してユーモラスに描いたエッセイ集。『Marisol』連載を大幅に加筆修正。



★★今月の休館日★★
4、11、18、25日
(毎週火曜日)

したしみ図書館(総合研修センター内 電話5-2281)【開館時間】10:00~18:00
<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/shihoro/webopac/index.do>

★善意に感謝します★

寄附・寄贈

▼協働のまちづくりに係る基盤づくりに関する事業

佐々木 八重子さん(新栄) 30万円
丹治 旭さん(佐倉南区) 10万円
辻本 喜弘さん(西上) 20万円
《特別養護老人ホームへ》
和田 晴男さん(佐倉南区)

ティッシュ他

アトリエ会

いも、豆他

新田老人クラブ

石けん

千葉 公雄さん(栄進)

米

中川 敏さん(中央)

スリッパ

士幌町肉牛振興会

しほろ牛

《社会福祉協議会へ》

辻本 喜弘さん(西上)

10万円

大西 住子さん(中士幌南)

10万円

丹治 旭さん(佐倉南区)

10万円

★おくやみ★

戸田 一郎さん(91歳) 平原
木村 ナツ子さん(101歳)

田中 早苗さん(58歳)

中士幌新南

富樫 豊さん(74歳)

西居辺

高島 時江さん(76歳)

中士幌南

大西 金助さん(93歳)

中士幌南

大野 昭子さん(90歳)

中士幌南

大野 昭子さん(90歳)

中士幌南

2023町民総合情報紙および町民便利帳を発行

「2023町民総合情報紙」「町民便利帳」を発行し、町内全戸に配布しました。

従来の町民総合情報紙のうち「町民便利帳」については、カラー版とし隔年発行に変更となります。

町民総合情報紙の「教えて今年の仕事」と「生涯学習ガイド」については、これまでと同様に毎年発行となります。



★お誕生★

山内 とし子さん(83歳) 士幌北二区

加納 れあさん(周) みどり

(2月28日生) 由希子さん

森本 栄司さん(銀次) 神苑

(3月3日生) 奈那さん

(3月15日受付分まで)



暮らしのカレンダー 4月

日にち	行	事	場所
1 土			
2 日			
3 月	☆ 9:00～11:00	妊産婦・子育て相談・一般健康相談	福セ
	☆ 9:30～11:30	ちびっこ広場	認定こ
	☆ 10:00～11:00	ぴよぴよ広場	中児
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
4 火	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	10:30～11:30	スマイル教室	保セ
	13:00～16:30	よすが子育て相談	福セ
	13:00～14:00	ふまねっと	タウン
	13:15～13:30 受付	予防接種 (四種混合・水痘・日本脳炎・B型肝炎)	国保
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
	15:45～16:00 受付	予防接種 (二種混合・日本脳炎)	国保
5 水	☆ 9:30～11:30	のびのびの日	認定こ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
6 木		受付時間は個別通知 もぐもぐ教室	保セ
	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
7 金	9:00～9:30 受付	まる元運動教室	保セ
	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	10:30～11:00 受付	まる元運動教室	保セ
	13:00～13:30 受付	まる元運動教室	保セ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
8 土			
9 日			
10 月	9:00～11:00	妊産婦・子育て相談・一般健康相談	福セ
	☆ 9:30～11:30	ちびっこ広場	認定こ
	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	13:00～14:00	ふまねっと	タウン
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
11 火	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	13:00～16:30	よすが子育て相談	福セ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
12 水	☆ 9:30～11:30	のびのびの日	認定こ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
	13:15～13:30 受付	予防接種 (BCG・麻しん風しん混合)	保セ
	15:45～16:00 受付	予防接種 (二種混合・日本脳炎)	国保
13 木	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
14 金	9:00～9:30 受付	まる元運動教室	保セ
	9:00～11:30	赤ちゃん相談	福セ
	☆ 9:30～11:30	わんぱくの日	認定こ
	10:30～11:00 受付	まる元運動教室	保セ
	13:00～13:30 受付	まる元運動教室	保セ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
15 土	13:00～14:00	ふまねっと	中士幌

日にち	行	事	場所
16 日			
17 月	9:00～11:00	妊産婦・子育て相談・一般健康相談	福セ
	☆ 9:30～11:30	ちびっこ広場	認定こ
18 火	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	13:00～14:00	ふまねっと	タウン
	13:00～16:30	よすが子育て相談	福セ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
19 水		受付時間は個別通知 むし歯予防教室	保セ
	☆ 9:30～11:30	のびのびの日	認定こ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
20 木		受付時間は個別通知 乳児健診	保セ
	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
21 金	9:00～9:30 受付	まる元運動教室	保セ
	☆ 9:30～11:30	おひさまの日	認定こ
	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	10:30～11:00 受付	まる元運動教室	保セ
	13:00～13:30 受付	まる元運動教室	保セ
	13:15～13:30 受付	予防接種 (四種混合・水痘・日本脳炎・B型肝炎)	国保
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
	15:45～16:00 受付	予防接種 (二種混合・日本脳炎)	国保
22 土			
23 日			
24 月	9:00～11:00	妊産婦・子育て相談・一般健康相談	福セ
	☆ 9:30～11:30	ちびっこ広場	認定こ
	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
25 火	☆ 9:30～11:30	なかよくあそぼ	中児
	13:00～16:30	よすが子育て相談	福セ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
26 水	9:30～11:00	おっぱい相談 (要予約)	福セ
	☆ 9:30～11:30	のびのびの日	認定こ
	13:15～13:30 受付	予防接種 (BCG・麻しん風しん混合)	保セ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
27 木	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
28 金	9:00～9:30 受付	まる元運動教室	保セ
	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	10:30～11:00 受付	まる元運動教室	保セ
	13:00～13:30 受付	まる元運動教室	保セ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
29 土		昭和の日	
30 日			

【凡 例】

保セ→町民保健センター
福セ→総合福祉センター
中児→中士幌児童ステーション
認定こ→認定こども園なかよし

国保→国保病院
中士幌→中士幌地区公民館
タウン→タウンプラザ
総研→総合研修センター
コミセン→コミュニティセンター

※子育て支援は0歳児から就学前のお子さんを持つ家庭の方が対象です。また、キッズ・クラブは会員登録制です。☆印のお問い合わせや子育ての相談は子育て支援センター(電話7-4102)または認定こども園なかよし(電話5-2502)まで
※まる元運動教室は、地域包括支援センター(電話5-2188)にご相談ください。